

# 令和3年度森林環境税活用事業予算の概要

資料1

単位:千円

大区分	小区分	No.	新・継・拡充	担当課	細目事業名 (補助事業名等)	令和2年度 当初予算 計上額 ①	令和2年度 補正(見込)	令和3年度当初予算		増減 差額 (②-①)	前年比 (②÷①)	事業内容	前回の委員会からの見直し事項・理由	令和3年度 目標値(予定)	備 考	
								前回説明 時点	最終案 ②							
ア	森林整備	1	継	木材増産推進課	緊急間伐総合支援事業費 (公益林保全整備事業)	23,000		23,000	23,000	0	100%	水源かん養機能などの公益的機能が高い人工林の保育間伐を推進することで、荒廃森林の発生を防止し、森林の持つ公益的機能が効果的に発揮されるよう森林の整備を図る。		288ha		
		2	継	木材増産推進課	みどりの環境整備支援事業	20,000		29,106	29,106	9,106	146%	CO2吸収効果の高い11年生～45年生の人工林の除間伐(国庫補助事業への嵩上げ補助)		821ha		
		3	継	木材増産推進課	造林事業(環境林整備事業)	40,400	△ 20,000	25,750	25,750	△ 14,650	64%	森林所有者の自助努力では適切な森林整備が期待できない森林において、森林所有者に代わって森林組合等が実施する人工林(11～60年生)の保育間伐を支援		250ha		
		4	拡充	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費)	10,464	△ 3,750	10,464	10,464	0	100%	里山林の保全管理等を行う地域の取組を支援 (国の森林・山村多面的機能発揮対策支援事業の上乗せ補助(国の交付単価の1/6))		400ha		
	森林整備 小計						93,864	△ 23,750	88,320	88,320	△ 5,544	94%				
	シカ被害対策	5-1	継	鳥獣対策課	鳥獣被害対策事業費 (指定管理鳥獣捕獲等事業委託料)	5,995		6,017	6,017	22	100%	シカによる自然植生被害が著しく、また、シカの生息場所ともなっている高標高域等の国有林内鳥獣保護区でのシカ捕獲を推進		60頭		
		5-2	継	鳥獣対策課	鳥獣被害対策事業費 (シカ個体数調査委託料)	15,715		2,142	2,142	△ 13,573	14%	科学的根拠に基づく計画的なシカの管理を行うため、前年度に実施した生息状況調査(糞粒法110箇所、糞塊法70ルート)や市町村ごとのシカ捕獲実績等により、最新のシカの個体数を推定	高知県全域及び管理ユニット(A, B, C)ごと、また、市町村ごとの令和2年度末現在のシカ生息数を推定			
		5-3	新	鳥獣対策課	鳥獣被害対策事業費 (森林環境保全対策シカ捕獲事業委託料)	—		21,000	21,000	21,000	皆増	狩猟によるシカの捕獲実績が上位である市町村においてシカによる森林及び自然植生被害を軽減するため、狩猟期のシカ捕獲に対して捕獲報償金を支出		2,500頭		
		6	拡充	環境共生課	希少動植物保護対策事業費 (希少野生植物食害対策委託料)	15,411		16,986	16,986	1,575	161%	①希少野生植物の食害状況調査、防護柵設置候補地設定、防護柵設置計画作成 ②防護柵設置後のモニタリング調査 ③防護柵設置、防護柵の補修 ④石鎚山系の保護対策指針策定		① 5箇所 ② 26箇所 ③ 2箇所(200m) ④保護計画作成		
	シカ被害対策 小計						37,121	0	46,145	46,145	9,024	124%				
森林環境の保全を進める事業 計						130,985	△ 23,750	134,465	134,465	3,480	103%					
イ	森林環境教育	7	拡充	生涯学習課	環境学習推進事業費	4,840	△ 1,000	6,382	5,382	542	111%	①小中学生に、森林環境学習や体験活動を含む自然体験型学習事業を実施 ②体験活動を中心とした森林環境教育をサポートできる地域人材の育成研修を実施	森林研修センターや情報交流館等が実施する既存の研修を活用する方向で検討中。育成した人材を他課が実施する木育活動や山の学習支援事業へも参加を促すことで、森林活用に関わる機会を増やしていく。	①実施校15校 民間団体等10団体 ②育成する人材20名		
		8	継	高等学校課	森林環境保全事業費 (高校生森林環境理解事業)	1,087		1,219	1,219	132	112%	河川の水質検査や間伐材利用をととして高校生に森林環境の保全の重要性の理解を促進し、将来の森林の保全に具体的に取り組む人材を育成		58回 1,130人		
		9	継	高等学校課	森林環境保全事業費 (高校生後継者育成事業)	735		880	880	145	120%	林業関係学科等に学ぶ生徒を対象に、林業に関する資格取得を推進し、将来の林業を担う人材の育成		8回 82人		
		10	拡充	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (山の学習支援事業費)	26,611	△ 3,834	27,891	27,891	1,280	105%	①総合的な学習の時間において、年間を通して森林環境学習を実施する小中学校等に対して、学校独自の取り組みを支援 ②森林環境教育を推進するため、一日先生を行う団体又は個人に対して支援		① 67校 6,000人 ② 100回 5,000人		
	森林環境教育 小計						33,273	△ 4,834	36,372	35,372	2,099	106%				
	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業	11	継	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (森林環境情報誌作成等委託料)	7,404		7,321	7,321	△ 83	99%	森林環境情報誌(もりりん)の作成及び配布		アンケート1,100件		
		—	廃止	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (森林環境教育副読本作成委託料)	950		—	—	△ 950	皆減	子どもたちが山や森林への理解や関心を深めることを目的に、森林環境教育の副読本を作成		—		
		12	継	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (森林環境学習フェア等開催委託料)	9,165	△ 7,882	12,641	12,641	3,476	138%	森林環境学習に関するフェア及びバスツアーを開催し、広く県民に森林環境保全の重要性を理解し、森林に対する関心を深めていただくための情報発信等を実施		2.2万人		
		13	新	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (座談会等実施委託料)	—		9,289	9,289	9,289	皆増	現在の課税期間がR4年度に終了することに伴い、期間延長の検討に当たり県民から意見を聞くため、座談会等を開催		座談会参加者 120人 シンポジウム参加者 100人		
		14	継	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (こうち山の日県民参加支援事業委託料等)	5,431		2,065	2,065	△ 3,366	38%	①幅広く県民からの参加を募る森林保全ボランティア活動(こうち山の日県民参加支援事業委託料) ②県民参加の森づくり活動を支援するホームページの保守(ホームページ保守委託料)		22回 500人		
15		継	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (こうち山の日推進事業費)	7,857	△ 2,152	7,882	7,882	25	100%	「こうち山の日」の制定主旨に賛同する県民の活動を支援		35回 8,000人			
16		継	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (木育指導員活動支援事業費)	2,094		4,182	2,094	0	100%	木に対する親しみや関心を持ってもらうため、幼児等に対して行う木育の活動に要する経費を補助	今年度の実績が少ないことから、事業額の変更は申請状況によることとなったもの。	年12回の活動			
—		廃止	鳥獣対策課	鳥獣被害対策事業費 (シカ被害対策啓発事業委託料)	5,876		—	—	△ 5,876	皆減	シカが自然環境に与える影響や頭数管理の重要性について広く啓発し、その担い手である狩猟者の確保に向けた取組として①フォーラム、②体験ツアー及び③高校生等を対象とした出前授業を実施		—			
—	廃止	環境共生課	希少動植物保護対策事業 (普及啓発事業委託料)	3,586		—	—	△ 3,586	皆減	広く県民に高知県の自然環境及び生物多様性の保全の必要性などの広報を実施		—				
17	継	林業環境政策課	県民参加の森づくり推進費 (運営委員会等開催費)	1,216	△ 210	1,523	1,523	307	125%	①基金運営委員会委員報酬 ②その他事務費		4回 40人				
18	継	森づくり推進課	林業大学校研修事業費 (林業大学校(短期課程)研修業務等委託料)	658		699	699	41	106%	作業安全研修の開催		4回 45人				
県民の主体的な活動 小計						44,237	△ 10,034	45,602	43,514	△ 723	98%					
木材利用	19	継	木材産業振興課	県産材需要拡大対策事業費 (木の香るまちづくり推進事業)	36,690	15,000	45,286	45,286	8,596	123%	①県内の公共的空間等PR効果の高い公共施設の木質化及び木製品の導入 ②保育園・幼稚園・小中学校等への木製品(机・椅子・遊具等)導入及び教室等の木質化 ③木製のバス待合所や休憩所、観光案内板等の整備 ④市町村等が乳幼児に配布する木製玩具等の購入に要する経費を支援 ⑤その他事務費	他課の関連事業とも連携を図ることで、横の広がりによる更なる県産材利用の波及効果を目指し検討していく。	①7箇所 248,800人 ②35箇所 4,198人 ③31箇所 36,580人 ④5市町村 243人			
木材利用 小計						36,690	15,000	45,286	45,286	8,596	123%					
県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業 計						114,200	132	127,260	124,172	9,972	109%					
合 計						245,185	△ 23,618	261,725	258,837	13,452	105%					